

鳥飼地域の教育環境についての意見交換会（項目毎）10/14

項目等		意見
小規模校の適正化について	賛成意見	・ 小規模校では、教員の人数が少ないので、逆にきめ細かな指導が行き渡らない。 ・ 小規模校については賛成ではない。クラス替えがないことは寂しい。 ・ 小規模校については教育上のデメリットの方が大きい。適正化はやむなしだと思う。 ・ 児童数一桁学年の学校には自分の子どもを行かせたくないと感じる。 ・ 子どもの人間関係が固定化してしまうことは教育上良くない。 ・ 子どもの母数が増えることは、学校で人間関係形成の練習をする上で、絶対的なメリットである。 ・ 推計を見ると、鳥飼小と鳥飼東小の統合は必要に感じる。 ・ 将来的には第五中での単学級が出てくるため、鳥飼地域全体の問題として考える必要がある。 ・ このままでは令和9年度には1クラスの児童数が1桁になってしまうため、鳥飼東小は早急に統合を行ってほしい。統合先は問わない。 ・ 仮に統合を進める場合でも、伝統ある鳥飼小学校の場所と名前を残してほしい。 ・ 児童数は多い方がよい。友達がたくさんできるということは何よりの利点である。
	反対意見	・ 学校施設は地域コミュニティーであり、統合によりなくなってしまうことは大きな損失である。 ・ 少人数クラスできめ細かな指導が行き渡ることは、代え難いメリットである。 ・ 小規模校については反対であるが、将来人口が仮に増加した際に、今度は大規模の問題が出てくる可能性もあるため、安易に適正化を行うことは危険に感じる。 ・ 現在の鳥飼地域に4つの小学校が点在する状況が、子どもだけでなく保護者や地域の方が通う際に、位置的なバランスが良いと感じる。
通学距離について		・ かつて鳥飼地域は鳥飼小学校1校のみだったため、通学距離も現在よりも長かった。 ・ 昔の田んぼ道の場合は問題なかったが、現在の大通りを渡るような通学路の場合は、通学距離が長くなると危険に感じる。 ・ 仮に適正化を行った場合、スクールバスや集団登校、見守り隊の配置等、通学に関する何らかの対策は必要。 ・ 信号がある分大通りの方が安全に感じる。歩道のない狭い道では、トラックが子どものすぐそばを通過することが多く、危険に感じる。 ・ 統合におけるメリットの方がはるかに上回るため、通学距離が多少遠くなくても問題ない。 ・ 統合を行う場合、通学距離のことは十分に検討すべき。
その他		・ 鳥飼まちづくりグランドデザインと連動し、人口を増やす方向での検討もお願いしたい。 ・ 摂津市で初めての小中一貫校を作してほしい。 ・ 小中一貫校のメリットはいまいちわからない。最高学年の責任感を養うためにも、小学校と中学校は分かれていた方が良いのではないかな。 ・ 摂津市は北摂他地域と比較して図書館等の文化面での魅力がやや劣るように感じる。 ・ 子育て世帯に有利な政策をどんどん進めてほしい。 ・ 19時以降では子どもの寝かしつけを行っている家庭が多いため、今回の開催時間帯では親世代が参加しにくい。日中または、土日の開催をしてほしい。 ・ 広報のやり方次第では現役の親世代が参加しやすくなると感じる。 ・ 複式学級については反対。教員の負担が増え、教育の質が低下する恐れがある。離島の学校でもない限り、複式学級は現実的ではない。